秋吉台の山焼き！！

畜産技術部(畜産試験場)
平成22年2月22日

秋吉台の山焼きは、面積1,500haに及ぶ草原の景観保持を目的として行われます。

例年、２月中旬の天候不順時期に計画されるため、順延となることが多いのですが、今年は２月21日（日曜日）に予定どおり実施されました。地域の関係者が号令に合わせて９時半から一斉に火入れを行い、約３時間で一帯が焼き尽くされました。

育成業務課も、管理している野草地の多くが山焼きの実施地域となっていることから、毎年、年明けから山焼き箇所の火道切り等の準備を行い、行事に参加しています。

今年の天候は快晴、風も程良く吹き、絶好の日和となりました。火入れ後、豪快な炎があっという間に広がり、鎮火後は写真のように真っ黒なカルスト台地となって、そこには羊の群と呼ばれる石灰岩柱（カレンフェレルト）が現れました。

観光客もこれを一目見ようと大勢集まり、併せて当課の飼養する預託牛も見て帰る人もおられ、牧場の存在をアピールできるよい機会となりました。

秋吉台や育成業務課では、山焼きも無事終わり、いよいよ本格的な春が始まります。

職員による火入れ

鎮火後のカルスト台地